

5年生 <家庭科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・手縫いや調理の基礎的な技能を習得しようとしている。
- ・裁縫に必要な用具の安全な扱い方、簡単な手縫いの仕方について理解している。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・手縫いで作品づくりでは、自分なりの工夫を凝らし取り組んでいる。また、「買い物のしかた」など、授業で学んだことをもとにして、家庭での実践にも取り組んでいる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・初めての教科で意欲的に取り組んでいる。裁縫実習や調理実習は特に興味を示す児童が多い。
- ・裁縫など、できることが増えていくのが「うれしい」といった姿勢で学習に臨んでいる一方、失敗すると苦手意識をもってしまう児童もいる。

重点課題

<知識及び技能>

- ・基礎基本的な技能が定着するように、繰り返し実習を行い、家庭でも取り組むようにして、児童が経験する場を増やしていく。
- ・裁縫に慣れていない児童でも、用具の扱い方を理解できる工夫が必要である。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・生活経験の乏しい児童の中には、実生活と結びつけて考えることが難しい場面もあった。自分の生活に生かすことができるように、家庭との連携を図っていく必要がある。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・家庭科で学習した裁縫に関して、休み時間や家庭でも実践しようとする児童が多い。裁縫以外においても、学習したことを家庭で家族と一緒に実践したくなるような活動をより増やしていく。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・動画や掲示物を活用し、視覚的に理解できるようにする。
- ・児童同士の教え合いをする声かけを行うことで、基礎的な技能を習得できるようにする。
- ・裁縫では、簡単な題材からスタートし、スモールステップで技術力を高めていけるようにする。また、1回完結型の裁縫実習を適宜取り入れ、作ってすぐ使えて楽しいという経験を増やす。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・児童の経験には差があり、初めて学習する児童と、家庭でやっている児童それぞれに、自分なりに課題や目的をもって、ものづくりに取り組ませる。
- ・対面での発表・鑑賞以外に、スクールタクトなどのICTを活用した発表・鑑賞を取り入れることで、表現の幅を広げる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・学校での学習が、家庭生活の中で生かせるようにするために、家庭との連携を図る工夫をする。
- ・「実践カード」を作り、それを評価するなど、家庭実践させるための手立てを工夫する。

6年生 <家庭科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・安全に関する基本的なこと（調理用具・裁縫用具など）に留意して、活動できている。
- ・手縫いやミシン縫いの基本的な技能を習得し、発展させようとしている。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・作品づくりでは、自分なりの工夫を凝らし取り組んでいる。また、友達と相談しながら、友達の考えも取り入れている。
- ・「生活時間の使い方」では、実践計画を立て、家庭で取り組む活動も行った。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・おおむね意欲的に取り組んでいる。裁縫や実習は特に興味を示す児童が多い。

重点課題

<知識及び技能>

- ・5年生で習得した技能をさらに高めるために、応用的な題材を設定する。
- ・目的に応じた袋の作り方を習得できるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・学習したことを理解はしているが、自分の生活に生かすことが難しい児童がいるため、自分の場合に当てはめて考えさせる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・生活時間の有効な使い方、家族との触れ合いを楽しくする方法などの学習では、理解していてもなかなか実践に結び付きにくい。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・動画や掲示物を活用し、視覚的に理解できるようにする。
- ・様々な種類の袋物を作ることで、作り方の違いを理解し、目的に応じた形や大きさについて考えることができるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・アイデアを生かし、縫い方も工夫してつくらせる。作品見本や資料を見たり、友達からアドバイスをもらったりして考えさせる。
- ・自分の言葉で説明できるように、発表の機会を増やす。また、自信をもって発表できるように、発表の際の話型を提示する。
- ・対面での発表・鑑賞以外に、スクールタクトなどのICTを活用した発表・鑑賞を取り入れることで、表現の幅を広げる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・学校での学習が、家庭生活の中で生かせるようにするために、家庭との連携を図る工夫をする。
- ・「実践カード」を作り、それを評価するなど、家庭実践させるための手立てを工夫する。

